

令和8年度 学力向上のための重点プラン【小学校】新宿区立西新宿小学校

■ 学校の共通目標

【HP公開用・様式1・令和8年5月8日】

| | | |
|------|--------|-------------------------------|
| 授業作り | 重 点 | 児童自らが「問い」をもち、主体的に学習に取り組む授業づくり |
| 環境作り | | 児童相互の話し合い活動等、対話を生かした環境づくり |

■ 学年の取組について

| 学 年 | 学習状況の分析 (各種調査から) | 学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から) | 目標達成のための取組 |
|--------|---|---|--|
| 第1学年 | | <ul style="list-style-type: none"> 平仮名・片仮名の読み書きができる。 相手の話を「耳と目と心で聴く」ことを目標に、大事なことをもらさずに聞くことができるようにする。 10のまとまりを意識しながら足し算や引き算の計算をすることができるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 絵本の読み聞かせや音読による文字や言葉への慣れ 音読の反復 話を聞く機会を意図的に設定 ブロックなど半具体物の活用 ICTによる拡大提示の活用 |
| 第2学年 | | <ul style="list-style-type: none"> 文字や言葉を正しく書くことや、文章を相手に伝わるように書くことができるようにする。 既習漢字を文の中で正しく使うことができるようにする。助詞を正確に使えるようにする。 繰り上がり、繰り下がりのある加減計算や掛け算、九九等の基礎的な力を身に付けることができるようにする。 文章題を読み、課題をつかんで立式できるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 宿題として定期的にあのね帳の課題を出題し、書くことに慣れ親しませる デジタルドリルの活用 文章題において、言葉・図・式の間関係を意識させる授業づくり |
| 第3学年 | <ul style="list-style-type: none"> 国語の区学力調査の結果、知識・技能・思考・判断・表現ともに正答率は全国平均より若干低く、課題がある児童がいる。 話すこと、聞くことについての正答率は高い。 算数の区学力調査の結果、各領域・各観点で正答率が全国平均より若干低かった。 | <ul style="list-style-type: none"> 既習漢字を文の中で正しく使うことができるようにする。 段落相互の関係や、登場人物の気持ちの変化について叙述をもとに捉えられるようにする。 繰り上がり、繰り下がりのある加減計算や掛け算、九九等の基礎的な力を身に付けることができるようにする。 具体的な場面を通じて、長さやかさを測ったり計算したりできるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 音読の反復練習 国語辞典の活用 デジタルドリルの活用 小テスト、復習プリントの活用 児童一人ひとりに合わせた課題の設定 |
| 第4学年 | <ul style="list-style-type: none"> 国語の区学力調査の結果、物語の基本的な流れを読む力に課題がある児童が多い。 漢字の定着に個人差がある。 算数の区学力調査の結果、知識・技能・思考・判断・表現共に正答率が高かった。 文章問題の内容理解に課題がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 漢字練習などの練習時間を確保する。 日常的に分からない言葉は積極的に辞書を引き、語彙を増やし活用できるようにする。 文章構成を理解し、登場人物の気持ちや作者の意図を読むことができるように指導する。 漢字ドリル、ドリルノートを活用して繰り返し漢字を書くよう指導する。 式から具体的な数量関係を言葉や図などを関連付けながら指導する。 | <ul style="list-style-type: none"> 漢字ドリルの活用 国語辞典、漢字辞典の活用 デジタルドリルの活用 コンパス、分度器などの道具を日常的に使用させ、慣れさせる。 |
| 第5学年 | <ul style="list-style-type: none"> 国語の区学力調査の結果、既習の漢字や言葉に関する設問の正答率が低く、語彙力に課題がある。 文章内容を正確に読み取る力に課題がある。 算数の区学力調査の結果、式表現に課題がある。 定規やコンパスなどを正確に扱う力に課題がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 書き取り練習などを通して、日常的に繰り返し漢字を身に付けさせる。 文章を読んで、分かったことをノートに1行で書けるようにする。 四則演算が完璧でない児童は、今年度のうちに定着させるようにする。 「自分で考える」ことから逃げずに、やってみようという気持ちをもたせるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> デジタルドリルの活用 テストで8割に満たない児童は再テストの実施 読書月間や毎週の図書指導で本に親しませ、活字に触れる機会を設定 少人数指導の時間における、四則演算等の基礎的な計算をする時間の確保 自分で考える時間の確保 |
| 第6学年 | <ul style="list-style-type: none"> 国語の区学力調査の結果、漢字の書きに課題がある。 全体的に、文章を読み取る力が低い。 算数の区学力調査の結果、数と計算領域の正答率が低い。 公式に当てはめて計算することはできるが、既習事項を生かして解き方を自分で考えることが苦手である。 | <ul style="list-style-type: none"> 漢字の練習だけでなく、書くことを日常的な活動として取り組み、漢字や言葉を正しく活用する習慣を身に付ける。 登場人物の言動の根拠を考えながら読む指導をする。 書くことの学習において、内容に応じて目的を明確にした上で文章を書くようにさせる。 第5学年までの既習内容を定着させ、基礎・基本的な学力を身に付ける。 問題文から読み取ったことについて話し合うなどの活動を行い、思考力等の力を育む。 問題を読む際に、わかっていることや求めることをつかみ、問題を正しく読み取る力を高める。 | <ul style="list-style-type: none"> デジタルドリルの活用 日常生活でも進んで漢字や熟語を活用し、表現する活動の設定 スピーチする、話を聞いてメモを取る、インタビューする、質問に対して答える等の機会の設定 問題解決の際に、思考ツール等を活用して、整理して考えたり、図・言葉・式をもとにして取り組んだりできる授業計画の作成 |

